

ママたちがつないだ手は地域を結ぶ

つなぐ手

始まりはビジネスサポートセンター(ビジサポ)の講座。

そこで出会ったママたちが、協力し合い、地域とつながって、互いのいいところを集めて行動。地域を越えた輪はやがて大きな渦に。



昨年から始まった「ワンコインまつり」。今年はビジサポメンバーに加えて、地域のまちづくり団体や高校生、子どもたちも協力し開催。



狙ったパンに突撃♪



地元のまちづくり団体による読み聞かせ



大人も子どももダンス！ダンス！ダンス！

のびのびと地域で子育て

うるさくてもお互いさま！

11月9日にビジサポで子どもが主役のイベント「ワンコインまつり」が開かれた。会場を見渡すと飾り付けやチケットなど全てが真心のこもった手作りばかり。

「いつもダメだと怒られることを子どもたちへのびのびとやらせてあげたくて。そして、子育てに家事に大忙しのお母さんたちにもゆとり安心して楽しんでもらいたいです」と話すのは主催者の田中友里さん(30)。

彼女の考案した体験はいたずらの要素をふんだんに取り入れたものばかり。シューツと霧吹きで味付けするかき氷。水鉄砲でトイレットペーパーを破る射的。袋を棒で叩いてゲットするお菓子。子どもたちが普段家でやっているのを見掛けたら、「ダメメ！」とつい口を挟みたくなるようなものばかりだが、この日の子どもたちは宝探しや競争、踊りを夢中で楽しむ。わんぱく盛りにとってはまるで天国のような一日だ。

母たちも負けじと笑顔を見せる。むしろ子どもよりも楽しんでいる?!と思う程に。

地域交流が子どもの財産に

スタッフはビジサポメンバーに加えて、地元のまちづくり団体、高校生ボランティアたち。メンバーは、「助け合っていたら接点が増え、地域の中に広まっていった」「一人での子育てはイライラが募ることもあるけれど、みんなに見てもらったら、自分たちも楽しめる」と話す。

ママたちが結んだ手は、子どもたちに地域を越えた交流の場を提供する。

そして、大人になった子どもたちにとって、この温かい経験は一生の財産となるだろう。

宇城に住む人が増えるといいな。子どもはわんぱくで子育ては大変だと思った！でも楽しかった♪普段できない経験ができました。



ボランティアに来た小川工業高生



主催者の田中友里さん



完成したのは宇城市の定住促進のキャッチフレーズ「UKINISUM」